



2006年度 中間決算説明会

第83期: 中間期(平成18年4月1日～9月30日)

2006.11.13

太平洋工業株式会社

一滴のしずくが川の流れとなり、太平洋に注ぎ雲を呼び雨となる。

1930年、2gのバルブコアで創業した当社も事業の幅を広げ、今では海外に5カ国10会社を持つまでに成長した。

四位一体でのものづくり・ひとづくりをベースに地球環境保全に努め、開発型企业として世界に貢献していきたい。



目 次

1. 会社の概要・企業理念
2. 2006年度 中間期実績
通期業績予想
3. 中・長期経営計画

本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

1-1 当社の概要

- ◆創業 1930年8月
- ◆代表者 社長 小川信也
- ◆資本金 43億2千万円
- ◆株式 東証・名証一部上場('70年8月)
(証券コード 7250)
- ◆事業所 国内6工場
国内4社、海外5ヶ国10社
- ◆売上高 615億円('06年度単独予想)
810億円('06年度連結予想)
- ◆従業員 1,430人 グループ:3,200人
- ◆ホームページ <http://www.pacific-ind.co.jp/>
- ◆TPM優秀賞 1996年10月
ISO/QS9000認証取得 1999年5月
ISO14001認証取得 2000年10月
- ◆生産累計 バルブコア100億本('03)
タイヤバルブ50億本('03)

プレス・樹脂製品



タイヤバルブ製品



制御機器製品



1-2 事業の概要

セグメント		プレス樹脂製品 事業	バルブ製品事業			情報 サービス	合計
事業			タイヤバルブ事業	制御機器事業	TPMS事業		
			P	V	C		
単 独	売上高('06予想)	423億円 69%	51億円 8%	53億円 9%	88億円 14%	—	615億円
	人 員	890人	440人			—	1,430人
	主要工場	西大垣、東大垣 養老、九州	美濃、北大垣	北大垣	北大垣	—	国内6工場
連 結	売上高('06予想)	590億円 73%	211億円 26%			9億円 1%	810億円
	人 員	1,850人	800人			150人	2,900人
	海外生産拠点	台湾、米国(2) 中国	台湾、韓国、米国 タイ	中国、韓国	—	—	5ヶ国 10会社
主要顧客		トヨタ、ダイハツ、日野 三菱、ホンダ、スズキ デンソー、豊田自動織機 松下電器	ブリヂストン、横浜ゴム 住友ゴム、東洋ゴム 現代自、韓国タイヤ 正新	デンソー、豊田自動織機 三菱電機、松下電器 東芝、シャープ、ダイワ精工 LG電子、海爾	トヨタ	太平洋工業 地域企業	
主要製品		プレス加工 樹脂加工、金型	タイヤバルブ バルブコア	空調用制御弁	TPMS	ゴルフ場 人材派遣 油脂販売 ソフトウェア	

1-3 企業結合の状況

1. 連結会社：13社

黄色はバルブ事業、青色はプレス・樹脂事業

区分	会社名	事業分野				主な事業内容	設立	議決権比率	'06売上高予想	人員
		P	V	C	情報・サービス					
国内	ピーアイシステム株式会社				●	情報処理、ソフト開発・販売	1987年	100%	6億円	53人
	太平洋開発株式会社 (PDC)				●	ゴルフ場資産管理(養老CC)	1972年	66.1%	3億円	26人
	太養興産株式会社				●	ゴルフ場運営(養老CC)	2005年	(PDC) 100%	—	—
	太平洋産業株式会社				●	SS経営、保険代理業務、人材派遣業	1974年	98.7%	23億円	72人
	国内連結会社 計								32億円	151人
海外	米国	Pacific Industries USA Inc. (PIU)	(持株会社)			下記米国2社の統括管理	1988年	100%	—	—
		Pacific Industries Air Controls Inc.		●	●	バルブ関連製品の製造・販売	1999年	(PIA) 100%	51億円	26人
		Pacific Manufacturing Ohio Inc.	●			自動車用プレス製品の製造・販売	1999年	(PIU) 100%	131億円	450人
		Takumi Stamping Inc.	●			自動車用小物プレス製品の製造・販売	2001年	60%	33億円	210人
	台湾	太平洋汽門工業股份有限公司	●	●	●	自動車用プレス製品・バルブ関連製品の製造・販売	1984年	99.2%	46億円	231人
	韓国	太平洋バルブ工業株式会社 (PVI)		●	●	バルブ関連製品の製造・販売	1987年	99.5%	16億円	84人
		太平洋エアークントロール工業株式会社			●	カーエアコン部品の製造	2004年	(PVI) 100%	(非連結)	10人
	タイ	Pacific Industries(Thailand) Co.,Ltd.		●		バルブ関連製品の製造・販売	1989年	75%	9億円	97人
	中国	青島太平洋宏豊精密機器有限公司			●	空調用バルブ関連製品の製造・販売	2000年	55%	5億円	150人
		天津太平洋汽車部件有限公司	●			自動車用プレス製品の製造・販売	2005年	100%	—	79人
	海外連結会社 計								294億円	1,337人

2. 持分法適用会社：2社

国内	太平洋精工株式会社	●		●		オートフューズ・電気小物製品の製造・販売	1961年	20%	160億円	285人
海外(米国)	Takumi Stamping Texas Inc.	●				自動車用小物プレス製品の製造・販売	2005年	20%	140億円	40人

1-4 企業理念・経営理念

企業理念

わが社はメーカーとして、

1. 技術開発に努め、お客様の要望に応えた高いレベルの商品を提供していきます。

→

品質理念

2. 人間尊重を基本に、社員が“働く楽しみ”、“造る満足”を得る“場”を提供していきます。
3. 地球環境保全に努め、社会から期待される“良い会社”でありつづけます。

→

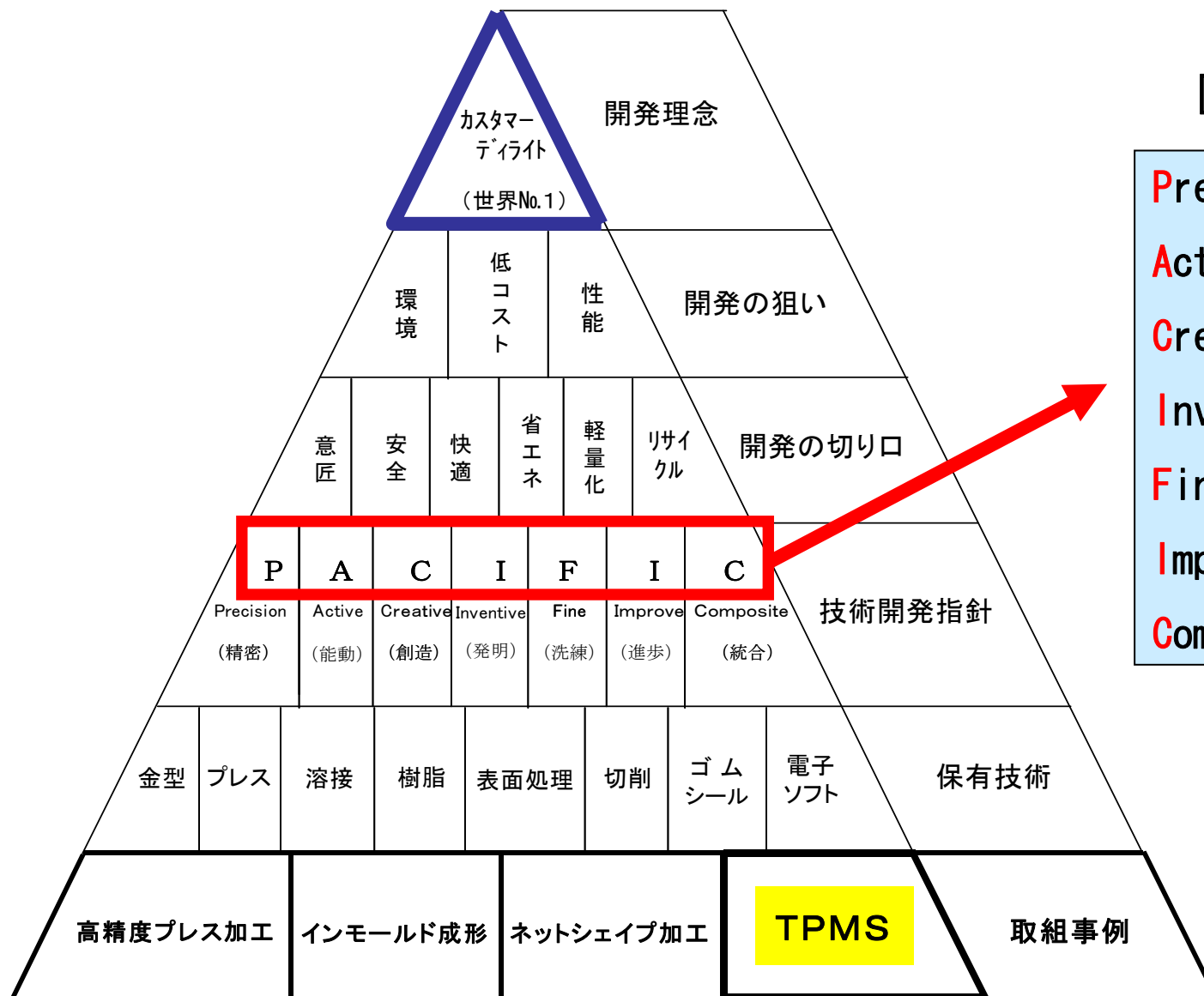
環境理念

経営理念

オープンでクリエイティブな経営
e-companyの実現

engineering	: 技術を売り物に
ecology	: 環境に配慮し
e-business	: eビジネス
emotional	: 活力に溢れ
efficiency	: 効率的に仕事をし
enrich	: 収益を確保しながら
enjoy	: 豊かな生活を楽しむ

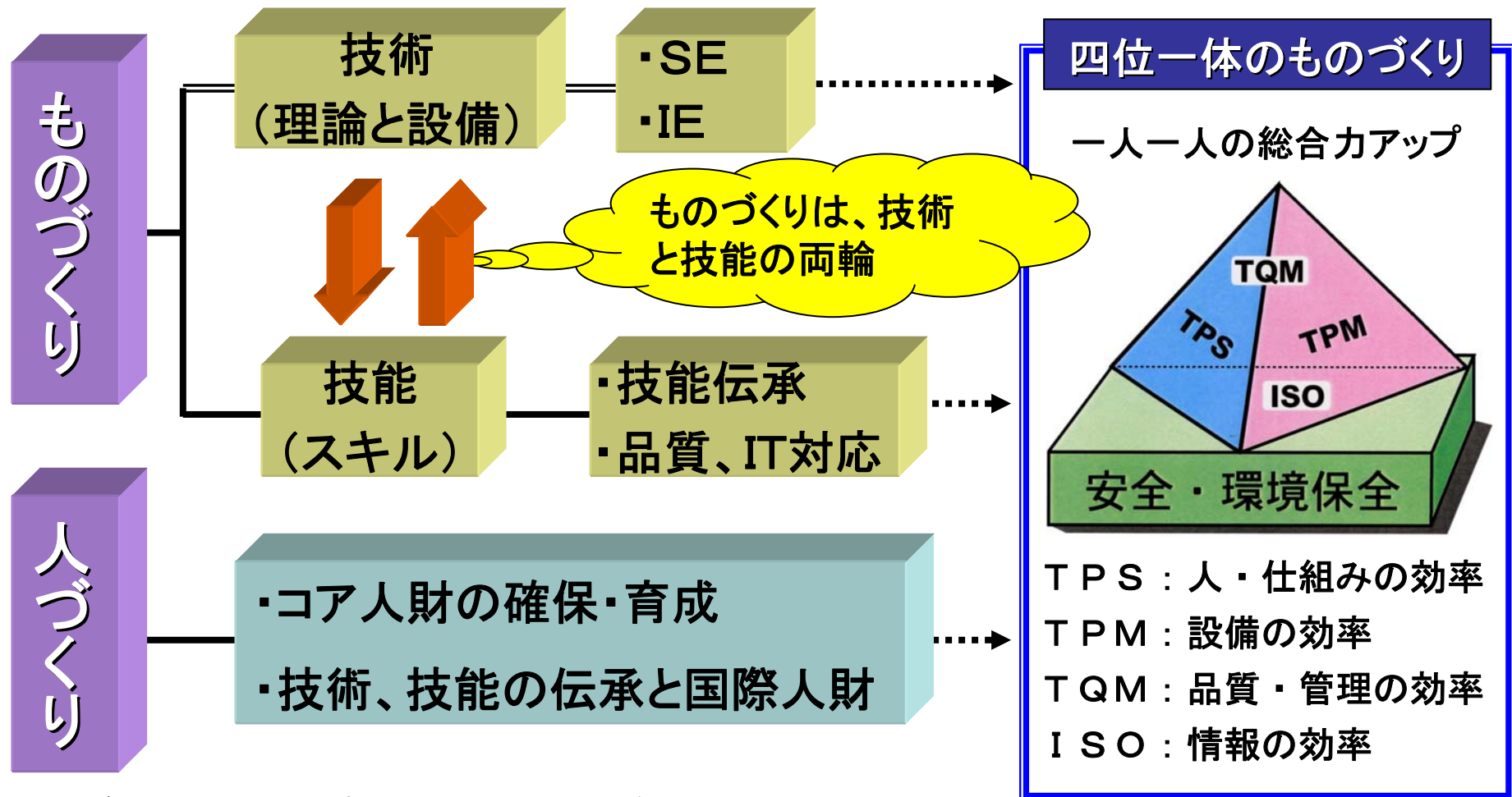
1-5 技術開発戦略



[技術開発指針]

Precision : 精密
Active : 能動
Creative : 創造
Intentive : 発明
Fine : 洗練
Improve : 進歩
Composite : 総合

1-6 ものづくりの理念

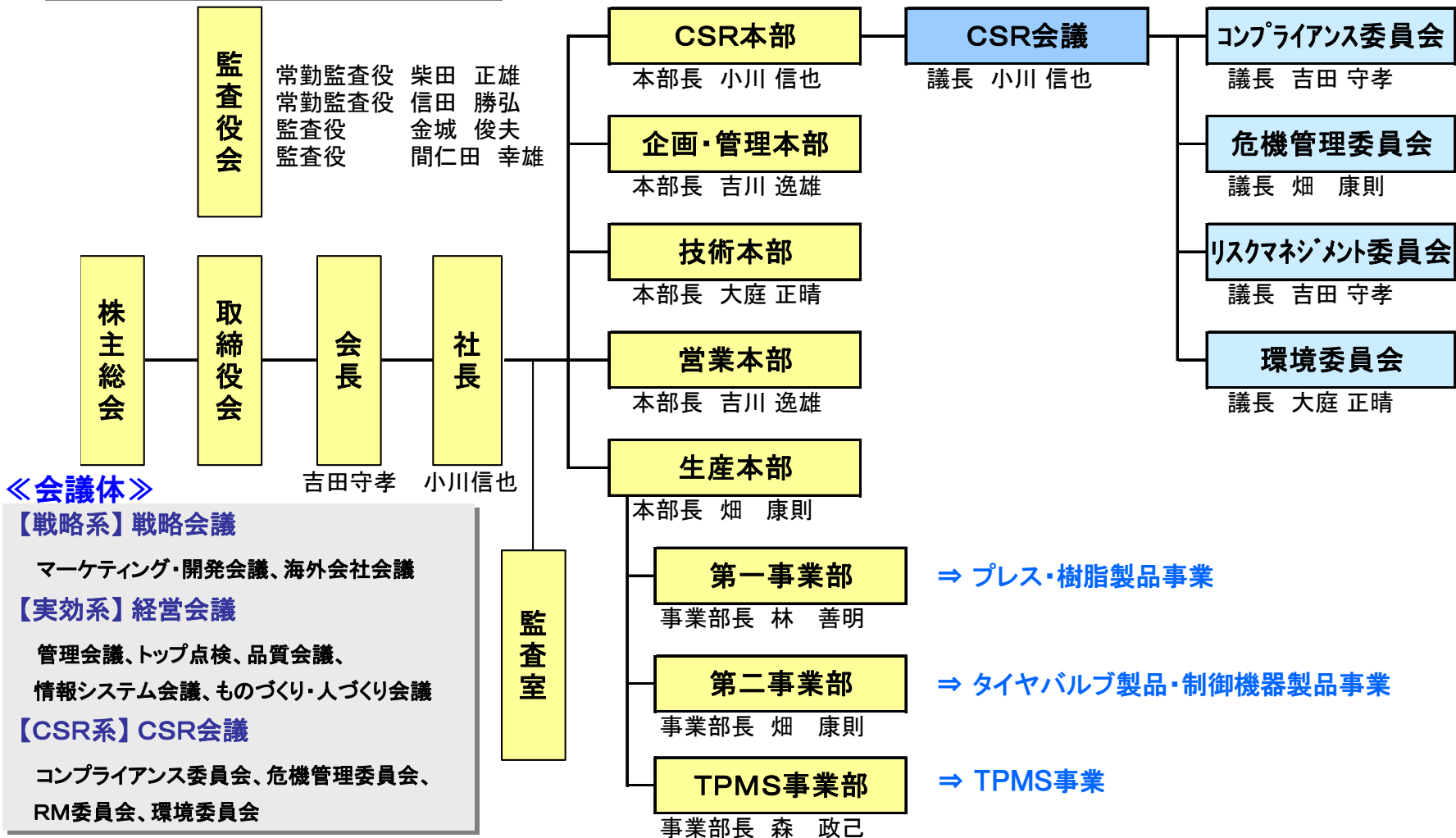


ISO/QS9000 ... 全社認証取得。海外会社4社取得。

ISO 14001 ... 全社認証取得。国内関係会社全社取得。
海外会社3社取得。

1-7 CSRと組織

- ・内部統制システム基本方針策定
- ・企業倫理相談窓口設置
- ・個人情報保護法、情報セキュリティ対応
- ・監査室設置



1-8 内部統制システム

事業目標の達成

企業の成長には、
両者の達成が必要

企業の社会的責任
(CSR)

企業経営に社会的な公正性、
環境への配慮を取り込む



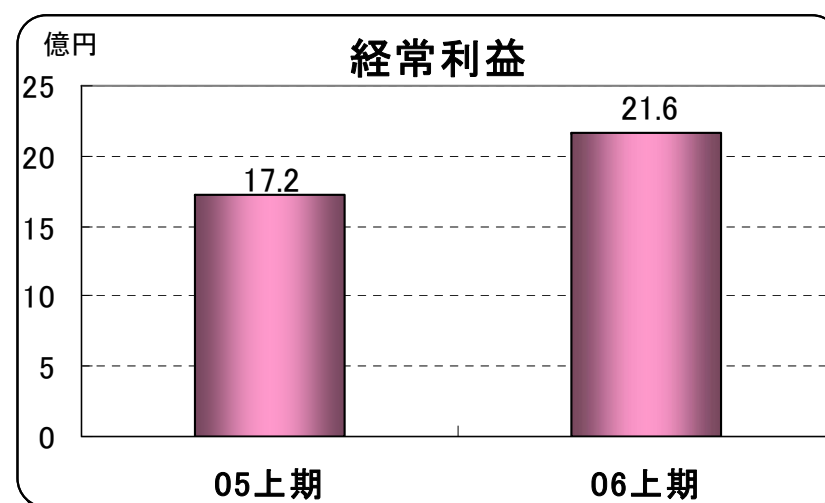
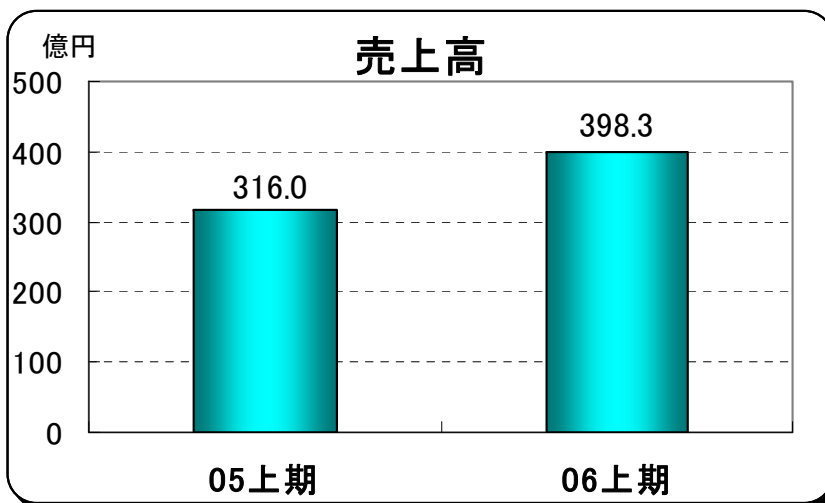
会社法による内部統制システムの基本方針制定

金融商品取引法 (J-SOX) への対応

2-1 中間 連結業績の対前年同期比較

(百万円、%)

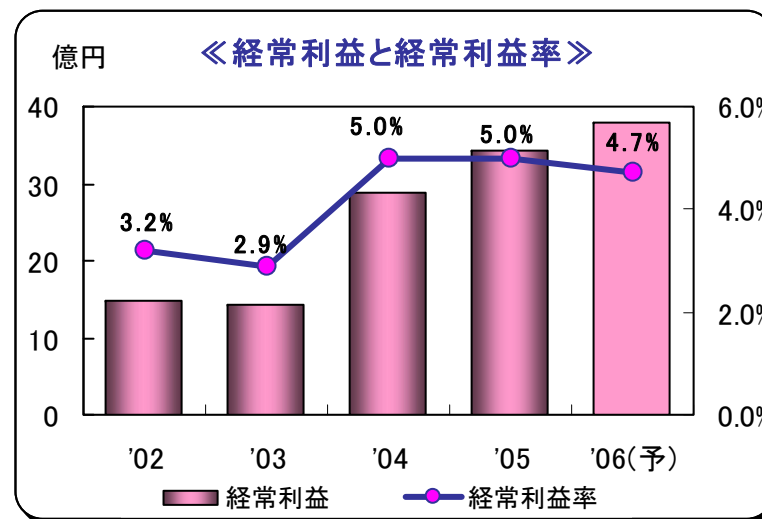
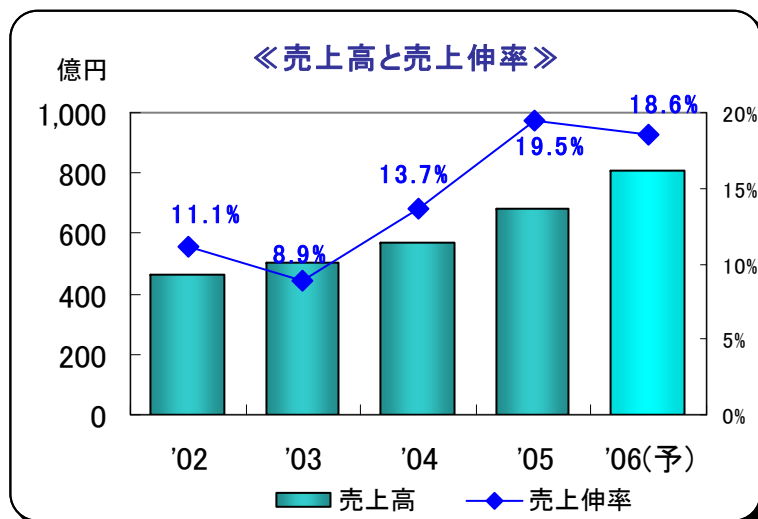
	前中間期	当中間期				前中間期比		
		前回予想値	実績	前回予想比				
				増減	増減率	増減	増減率	
売上高	31,604	38,000	39,830	1,830	+4.8	8,225	+26.0	5期連続増収 過去最高
営業利益	1,596 5.1%	1,900 5.0%	1,994 5.0%	94	+4.9	397	+24.9	3期連続増益 過去最高
経常利益	1,728 5.5%	2,000 5.3%	2,164 5.4%	164	+8.2	435	+25.2	3期連続増益 過去最高
中間純利益	60 0.2%	1,300 3.4%	1,374 3.5%	74	+5.7	1,313	22倍	2期振りの増益 過去最高



2-2 通期 連結業績予想

[百万円]

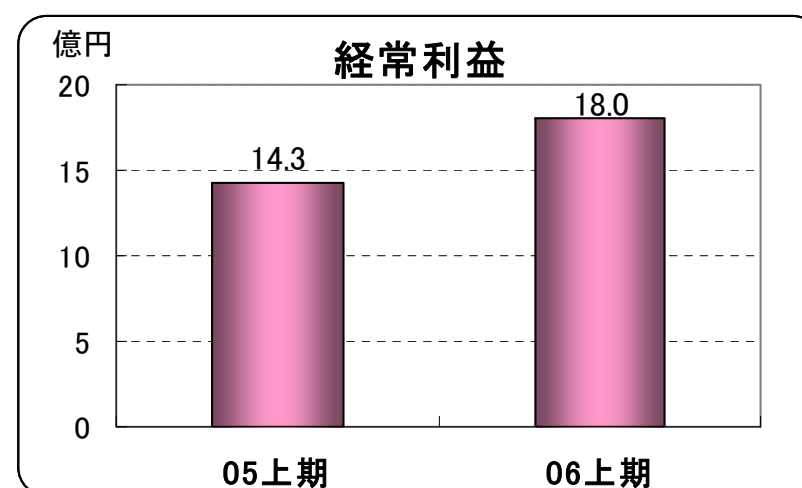
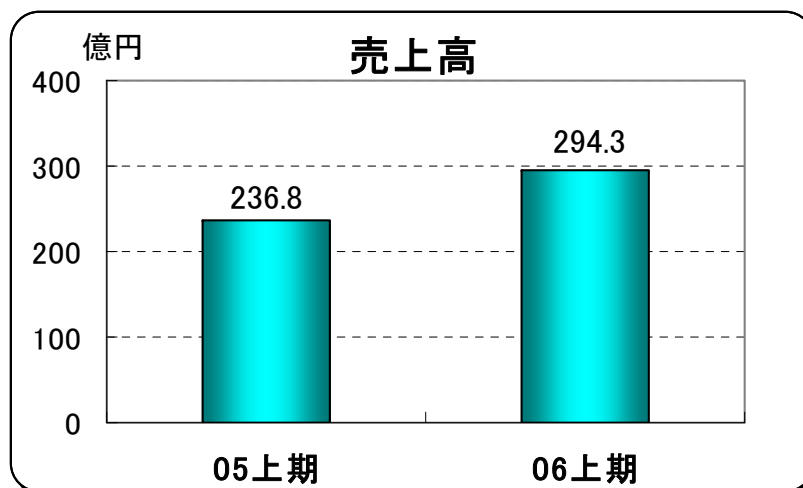
	'04	'05	'06 (前回予想)	'06 (今回予想)	前回予想比		前期比		連単 倍率	
					増減	増減率	増減	増減率		
売上高	57,135	68,277	76,000	81,000	5,000	+6.6	12,722	+18.6	1.3	8期連続の増収
営業利益	2,395	3,096	3,400	3,500	100	+2.9	403	+13.0	1.3	3期連続の増益
経常利益	2,882	3,439	3,550	3,800	250	+7.0	360	+10.5	1.1	3期連続の増益
当期純利益	1,811	1,147	2,200	2,450	250	+11.4	1,302	+113.5	1.2	2期振りの増益
経常利益率	5.0%	5.0%	4.7%	4.7%	0.0%		Δ0.3%			売上高 営業利益 経常利益 は過去最高 の予想
ROE	5.6%	3.2%	5.5%	6.1%	0.6%		2.9%			
ROA	4.1%	4.2%	3.8%	3.9%	0.1%		Δ0.3%			
一株当たり純資産(円)	620	736	770	759	Δ11		23			



2-3 中間 個別業績の対前年同期比較

(百万円、%)

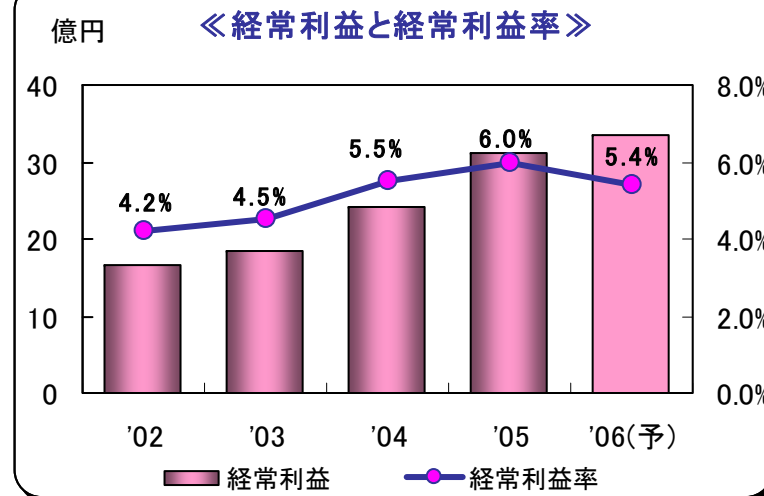
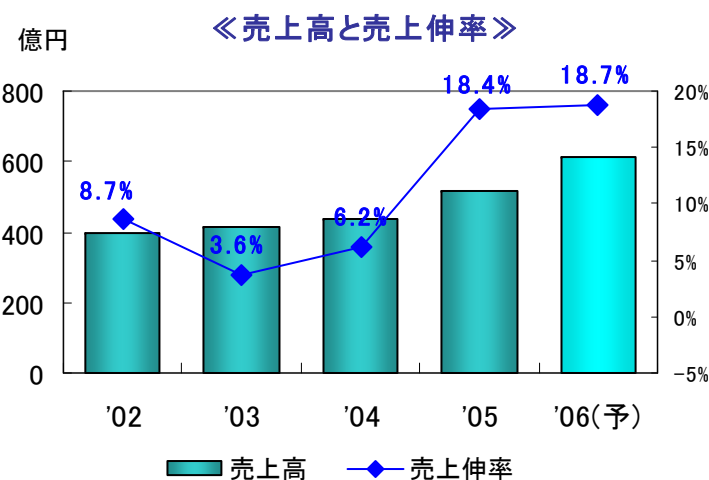
	前中間期	当中間期				前中間期比		
		前回予想値	実績	前回予想比				
				増減	増減率	増減	増減率	
売上高	23,688	29,500	29,433	△67	△0.2	5,745	+24.3	3期連続増収 過去最高
営業利益	1,156 4.9%	1,600 5.4%	1,495 5.1%	△105	△6.5	338	+29.3	3期連続増益 過去最高
経常利益	1,430 6.0%	1,800 6.1%	1,802 6.1%	2	+0.1	372	+26.0	3期連続増益 過去最高
中間純利益	△238 △1.0%	1,100 3.7%	1,076 3.7%	△24	△2.1	1,314	-	2期振りの増益



2-4 通期 個別業績予想

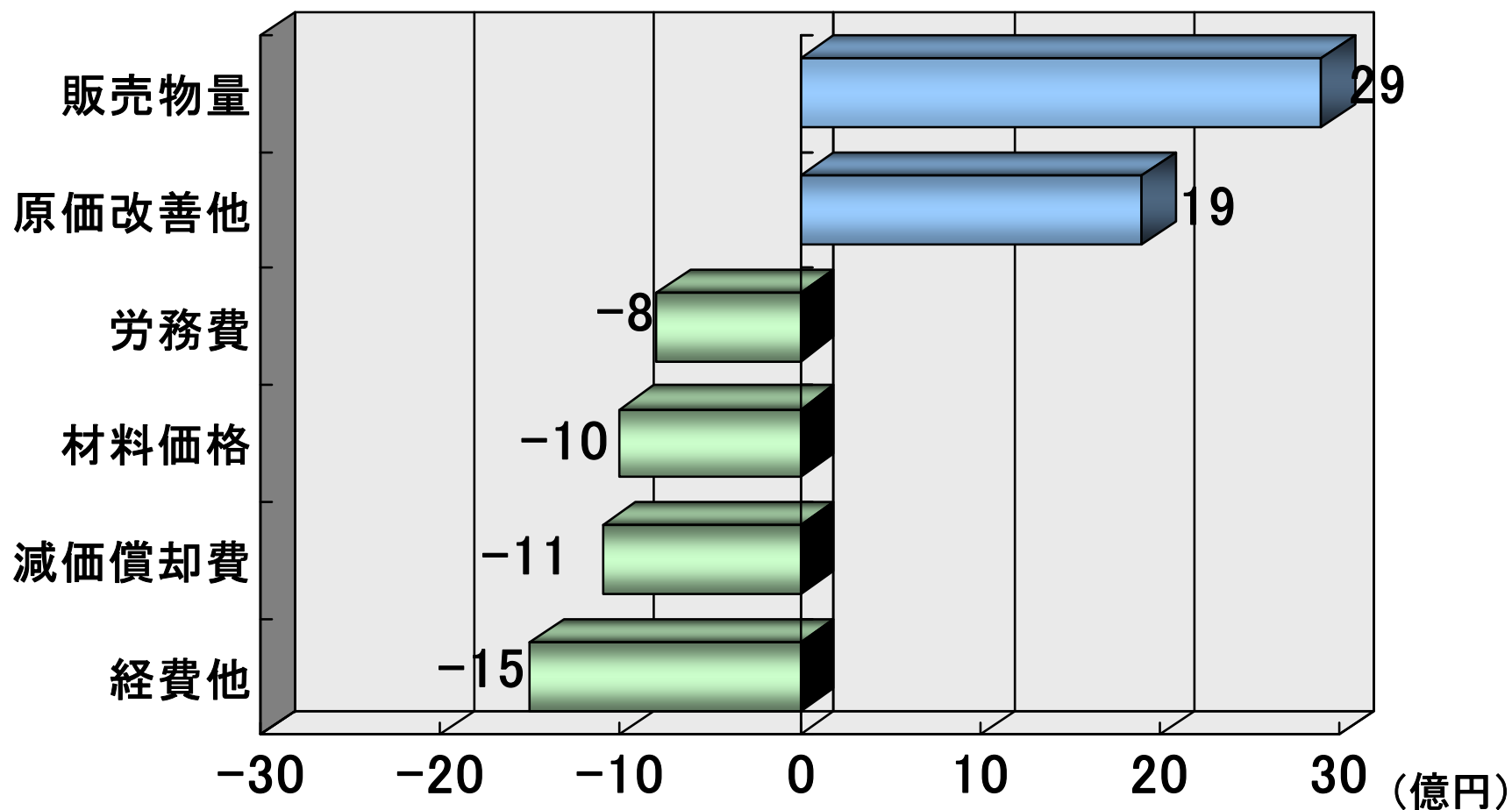
[百万円]

	'04	'05	'06 (前回予想)	'06 (今回予想)	前回予想比		前期比		
					増減	増減率	増減	増減率	
売上高	43,773	51,810	58,000	61,500	3,500	+6.0	9,689	+18.7	5期連続の増収
営業利益	1,896	2,465	2,850	2,750	△100	△3.5	284	+11.5	5期連続の増益
経常利益	2,410	3,104	3,300	3,350	50	+1.5	245	+7.9	5期連続の増益
当期純利益	1,454	780	2,000	2,050	50	+2.5	1,269	+162.8	2期振りの増益
配当金(1株当り)	6円+2円	8円	8円	10円	2円		2円		
売上高営業利益率	5.5%	6.0%	5.7%	5.4%	△0.3%		△0.6%		売上高 営業利益 経常利益 は過去最高 の予想
ROE	4.5%	2.2%	5.2%	5.4%	0.2%		3.2%		
ROA	4.0%	4.4%	4.2%	4.1%	△0.1%		△0.3%		
一株当たり純資産(円)	612	699	730	717	△13		18		



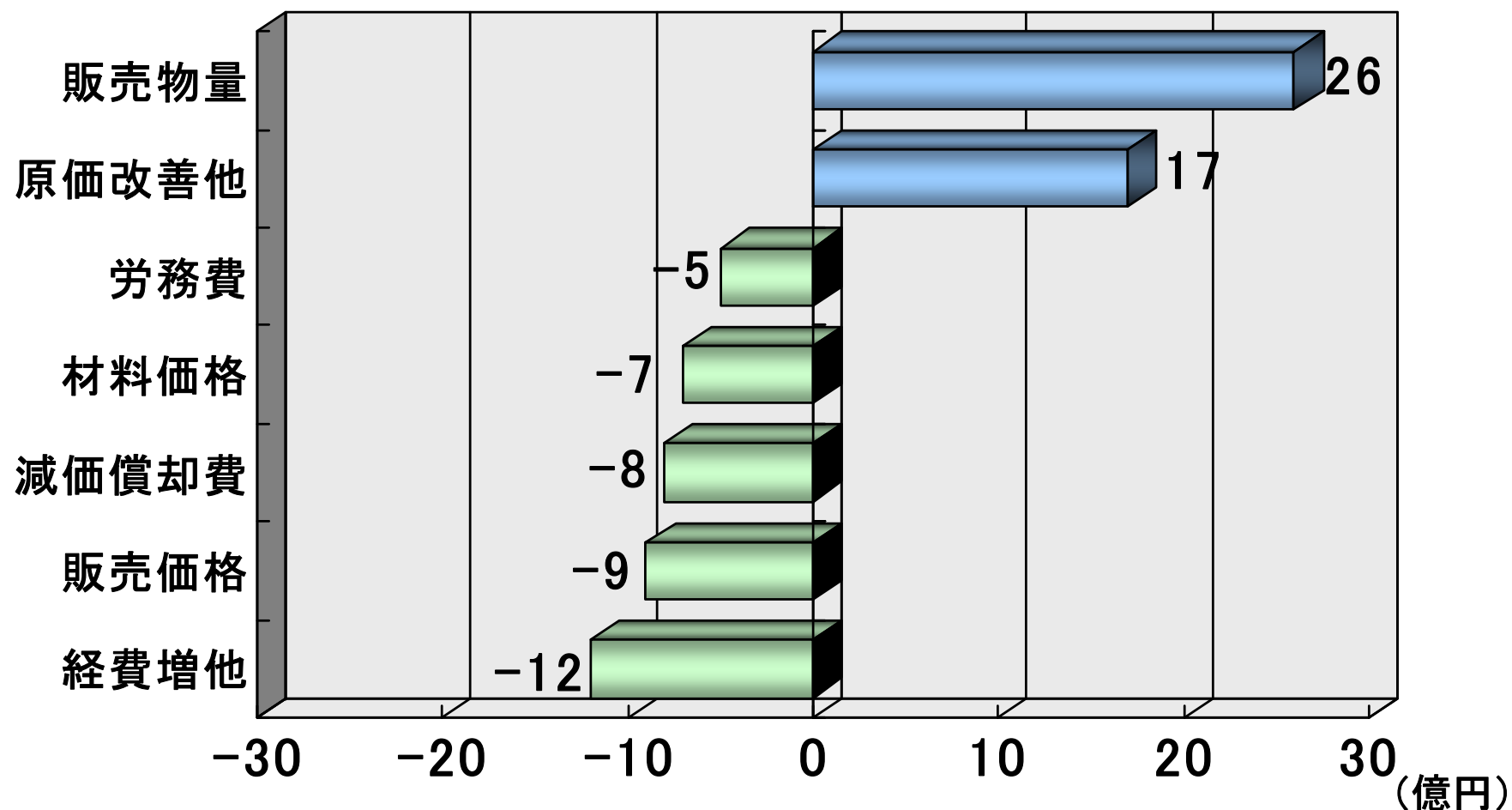
2-5 通期 連結經常利益 増減要因

《06予測対05実績 經常利益 +4億円》

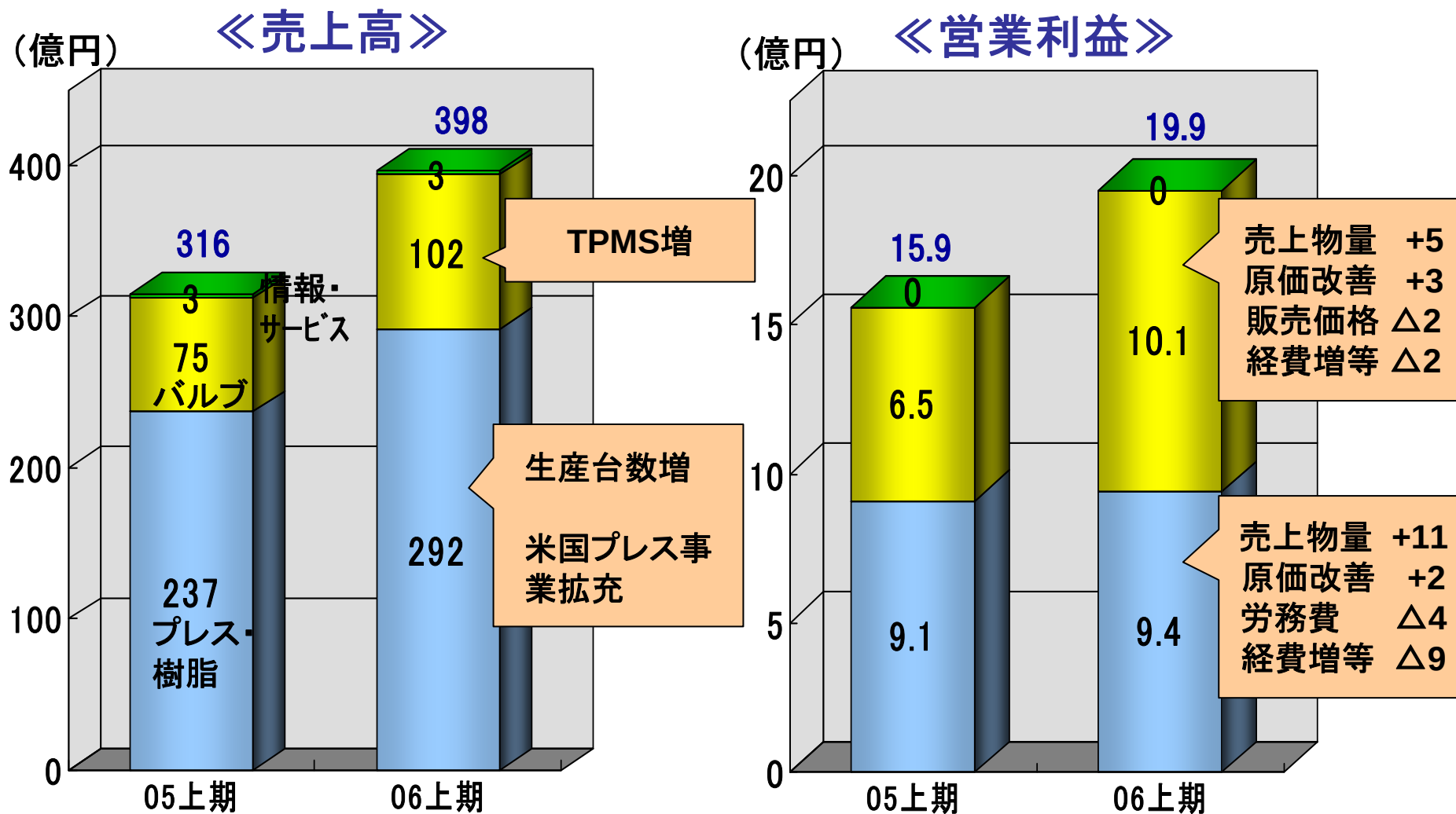


2-6 通期 個別經常利益 増減要因

《06予測対05実績 經常利益 +2億円》



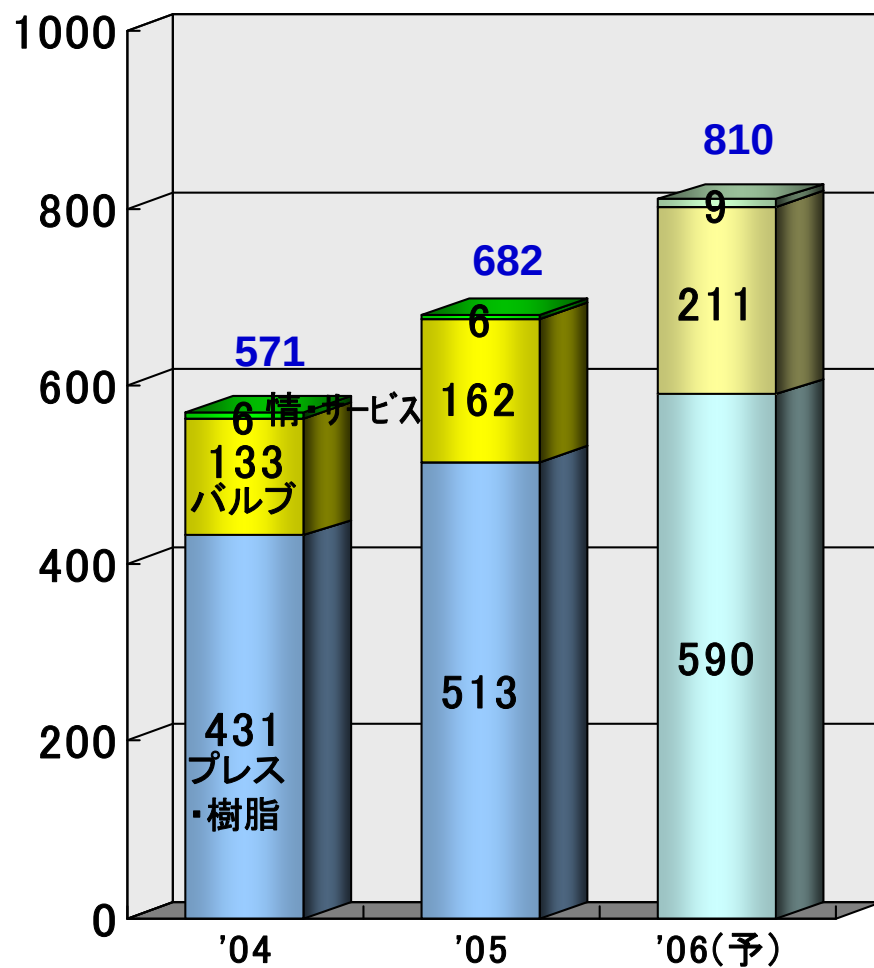
2-7 中間 連結事業別セグメント



2-8 通期 連結事業別セグメント

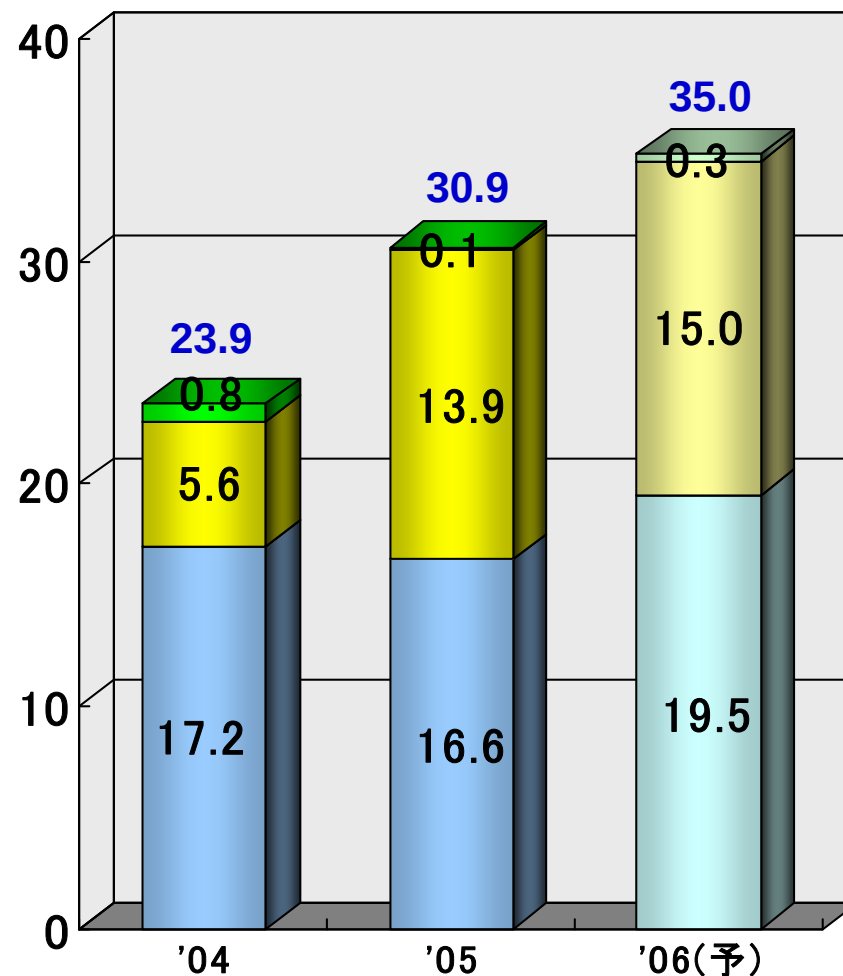
(億円)

《売上高》

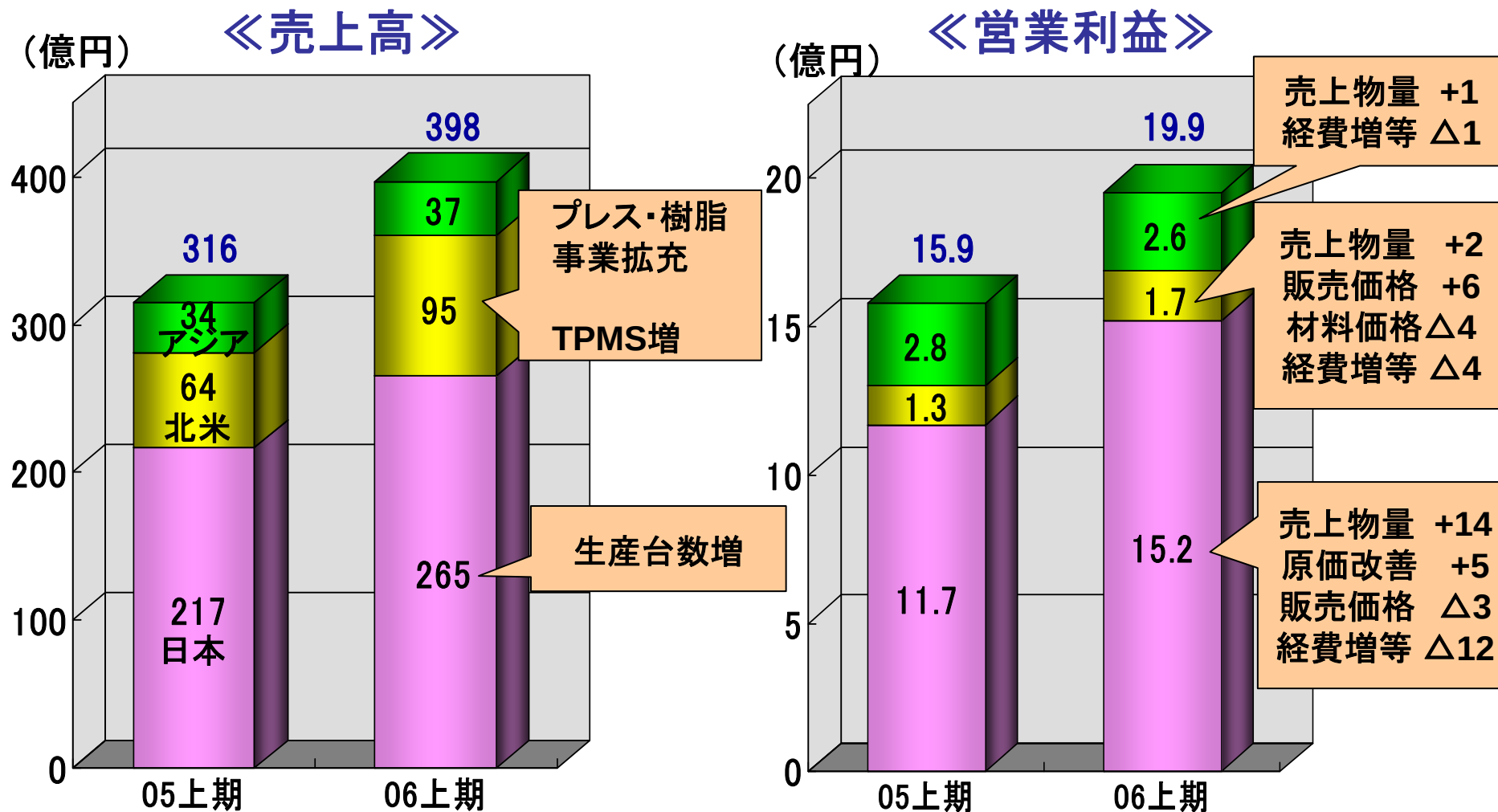


(億円)

《営業利益》



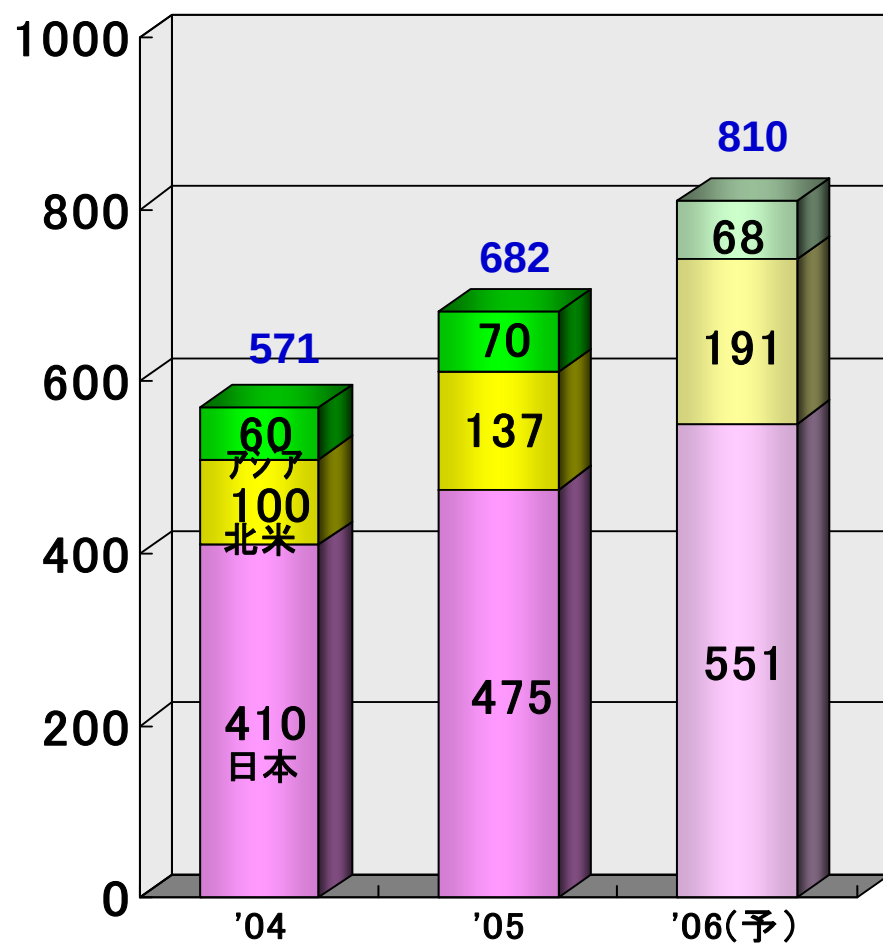
2-9 中間 連結地域別セグメント



2-10 通期 連結地域別セグメント

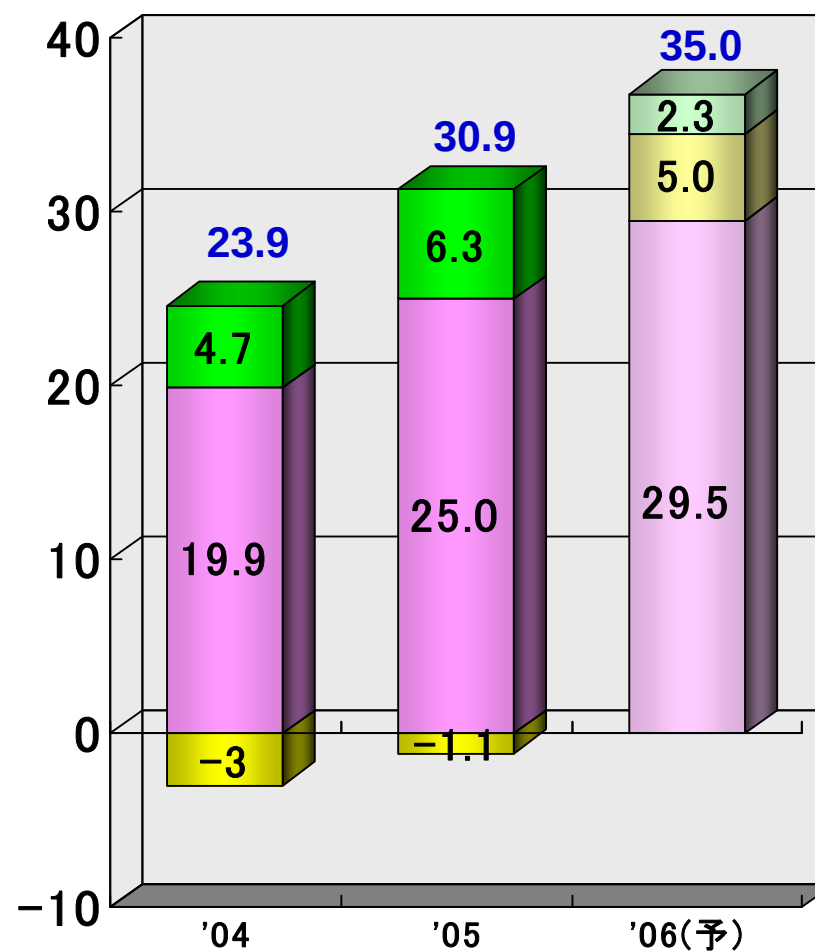
(億円)

《売上高》



(億円)

《営業利益》



2-11 通期 連結設備投資・減価償却費

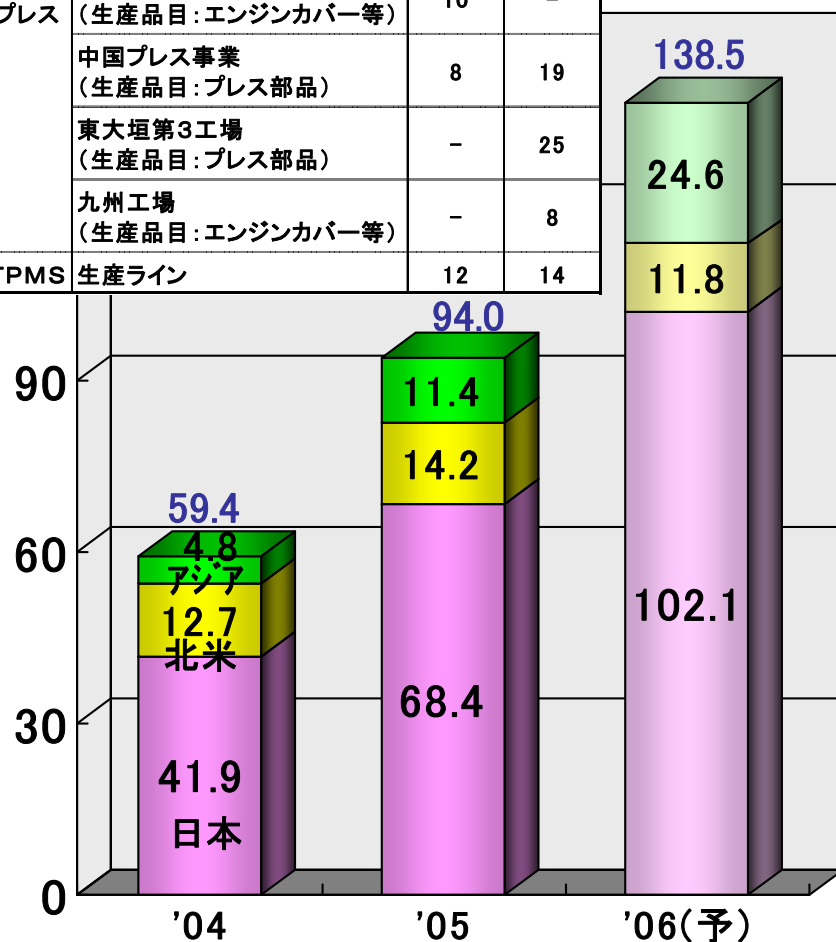
《設備投資》

(億円)

主な戦略投資

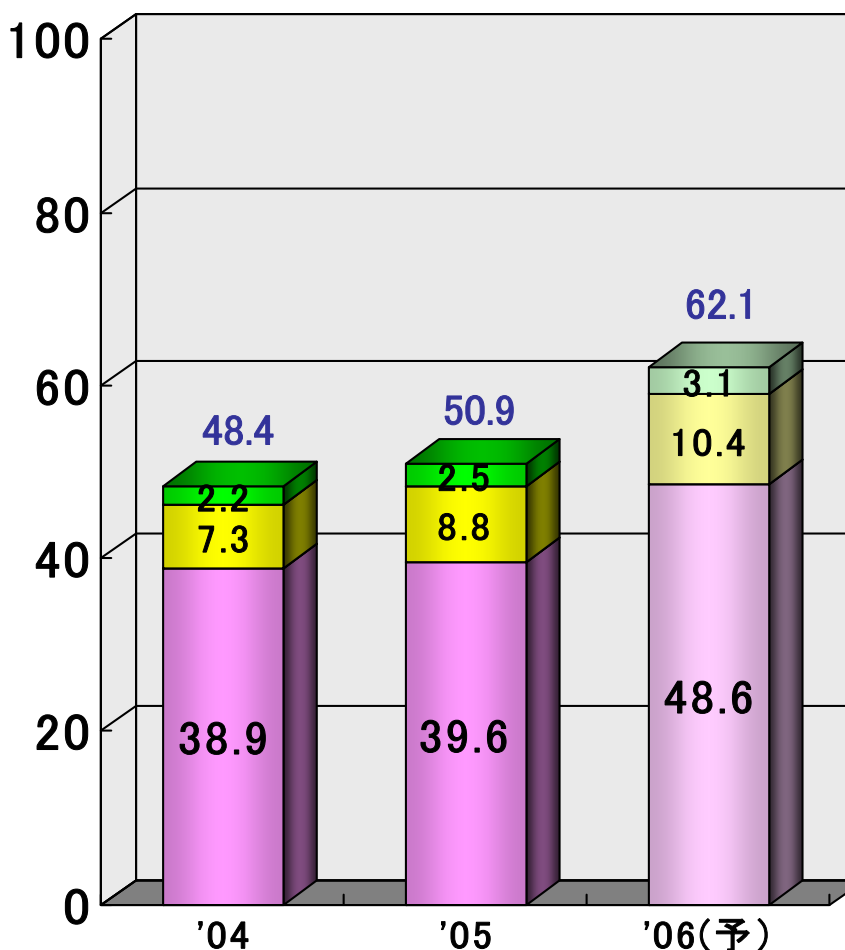
(億円)

事業	項目	05年	06年
プレス	米国・・・樹脂事業 (生産品目:エンジンカバー等)	10	-
	中国プレス事業 (生産品目:プレス部品)	8	19
	東大垣第3工場 (生産品目:プレス部品)	-	25
	九州工場 (生産品目:エンジンカバー等)	-	8
TPMS	生産ライン	12	14



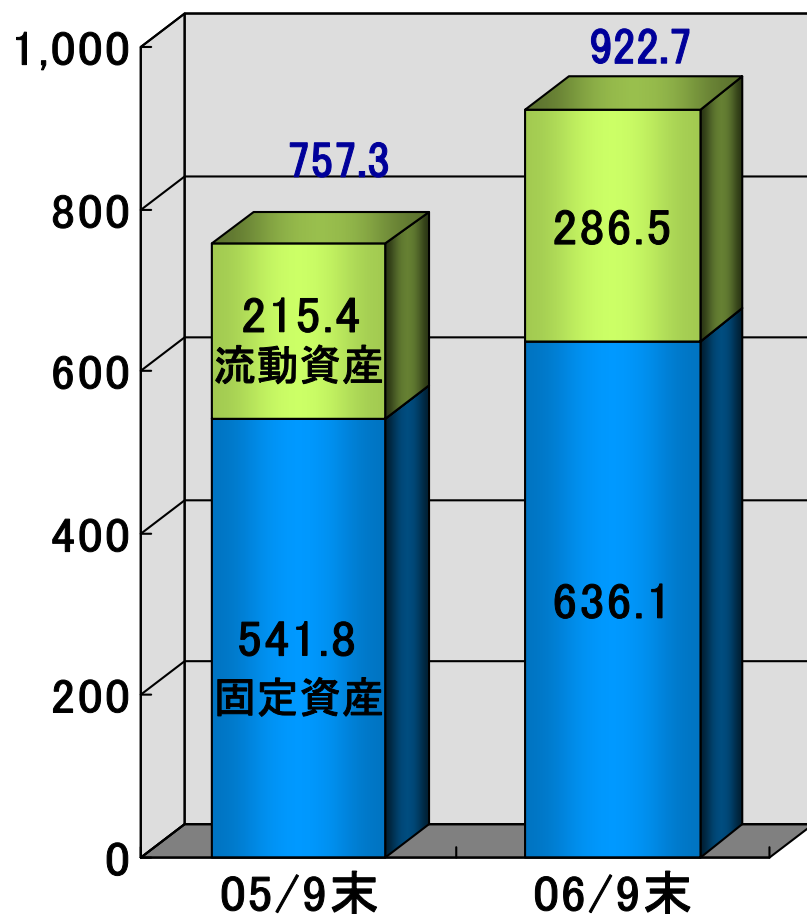
《減価償却費》

(億円)



2-12 中間 連結総資産 増減内訳

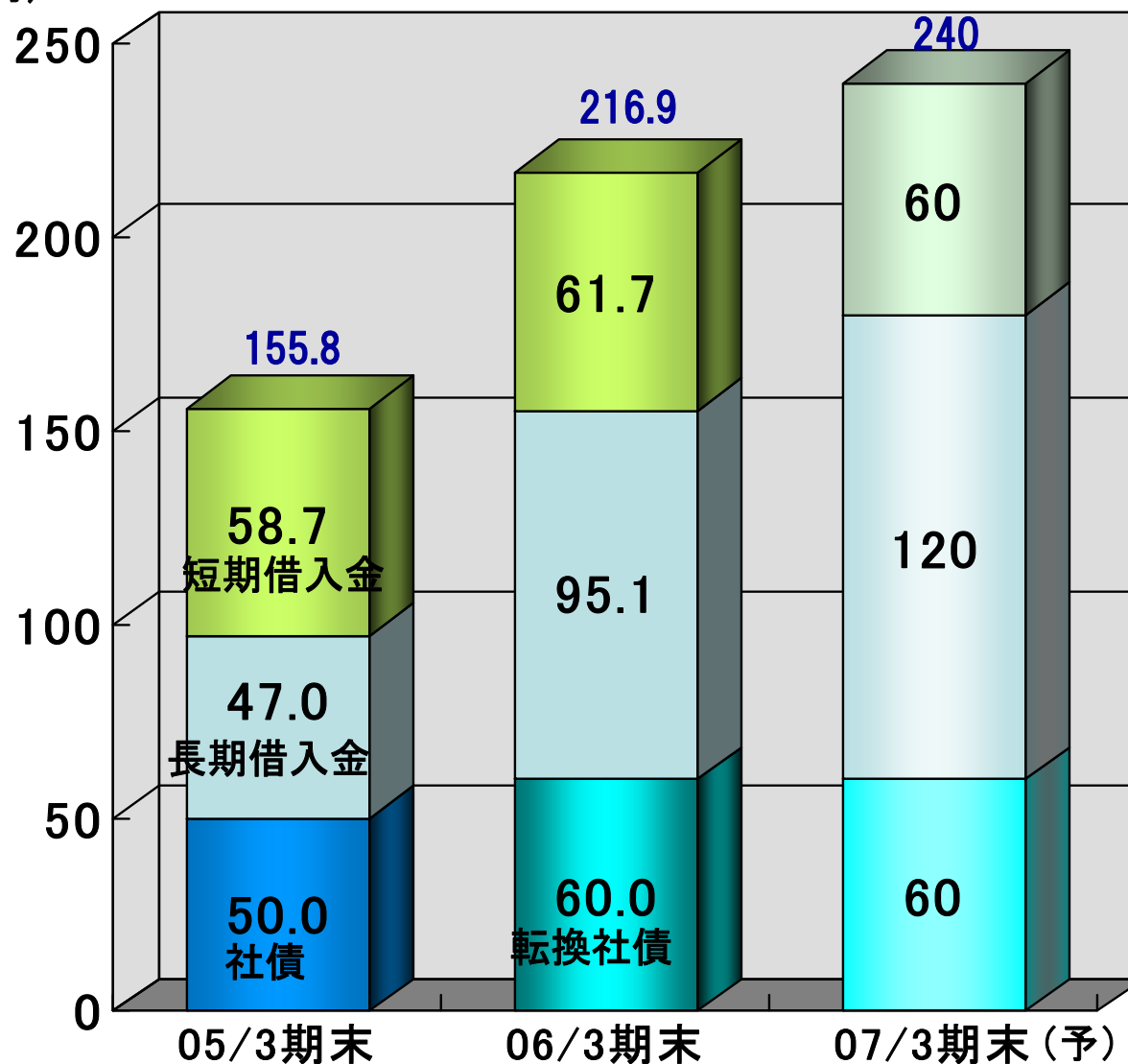
(億円)



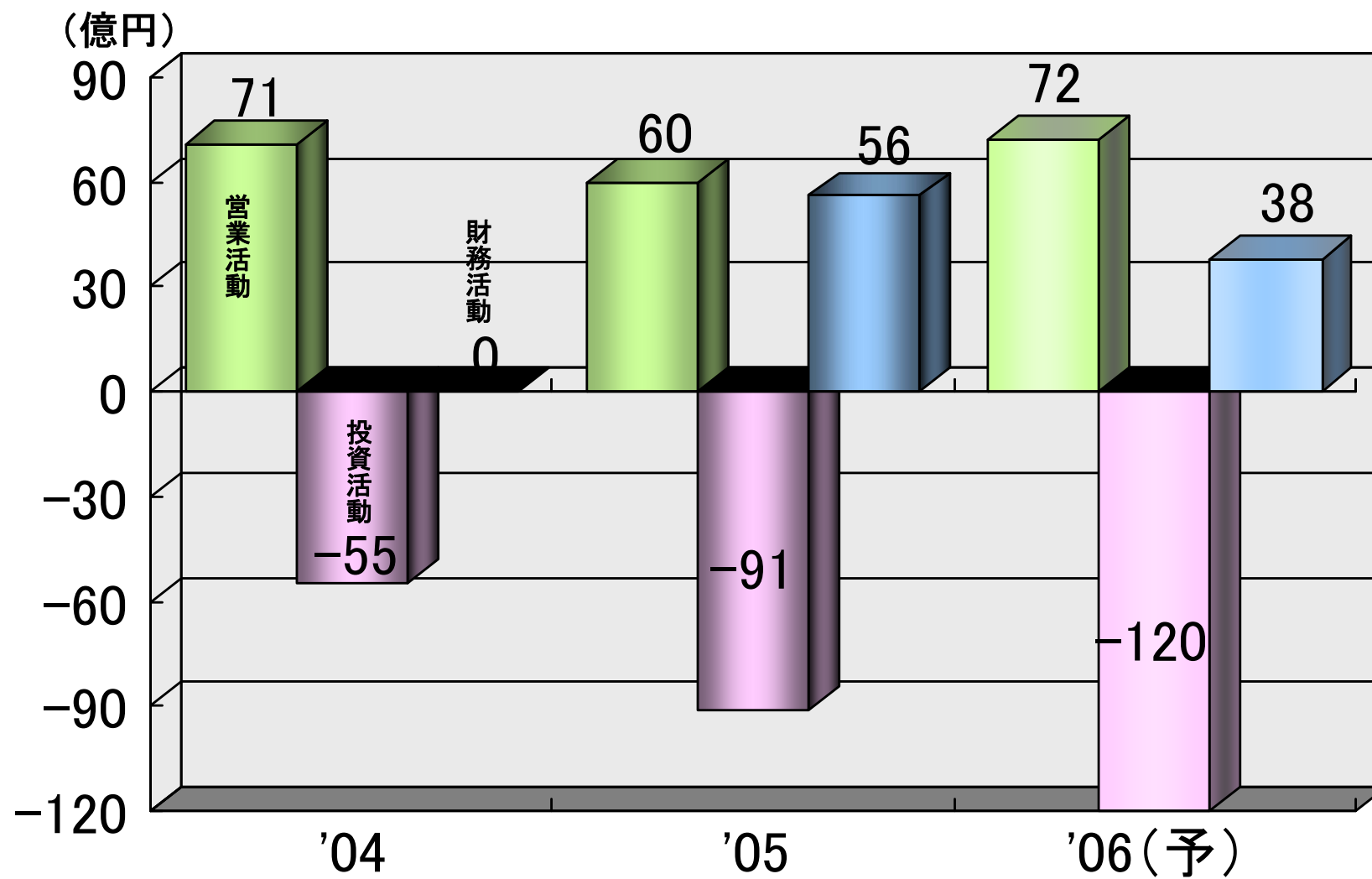
流動資産	+ 7 1 . 0 億円
・ 現金・預金	+ 2 1 . 9
・ 売掛金	+ 2 3 . 6
・ たな卸資産	+ 1 2 . 7
・ その他	+ 1 2 . 8
固定資産	+ 9 4 . 3 億円
・ 有形固定資産	+ 6 0 . 9
・ 無形固定資産	△ 0 . 9
・ 投資その他	+ 3 4 . 3
合 計	+ 1 6 5 . 4 億円

2-13 資金調達状況

(億円)



2-14 通期 連結キャッシュフロー



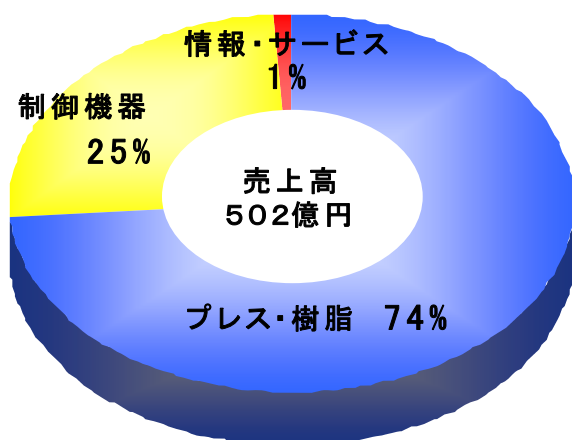
3-1 PACIFIC GLOCAL VISION 2015

- ◆ 基幹事業としての自動車関連事業領域の拡大
- ◆ 事業構造変革(専門・機能部品、新規事業)

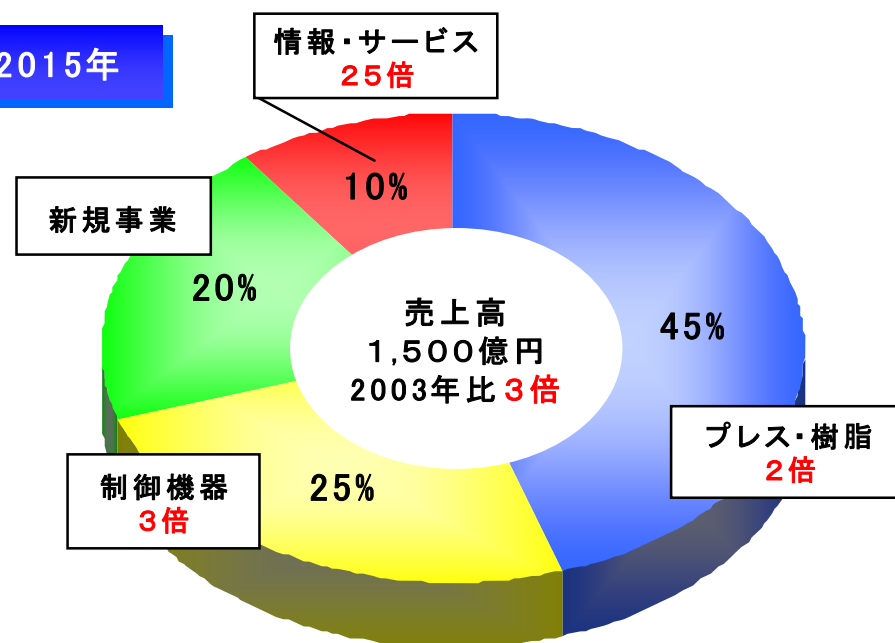
1. 連結売上高 : 1,500億円
2. 連結経常利益率 : 10%
3. 海外比率 : 50%以上

2010年
新中期経営計画

2003年



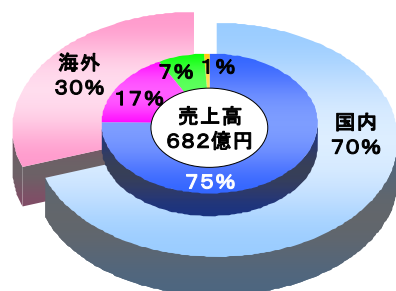
2015年



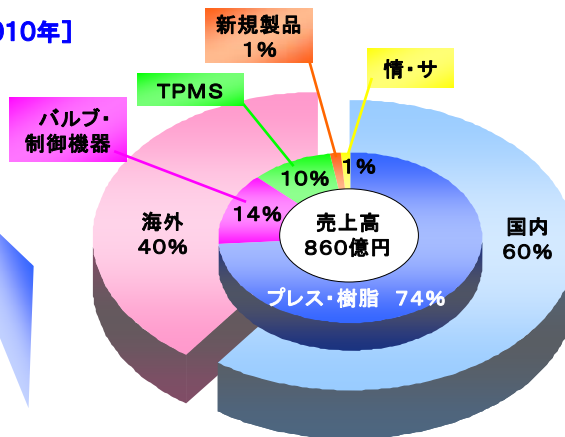
3-2 OCEAN-10の数値計画

売上高

[2005年]

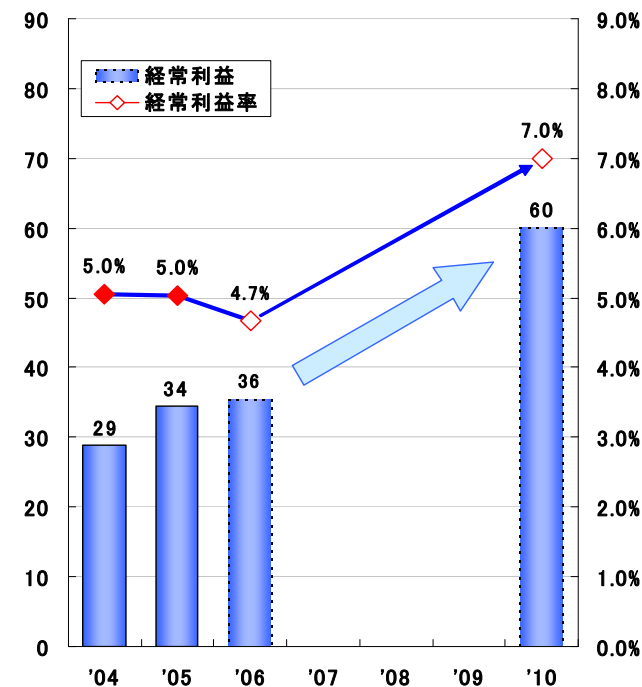


[2010年]



経常利益

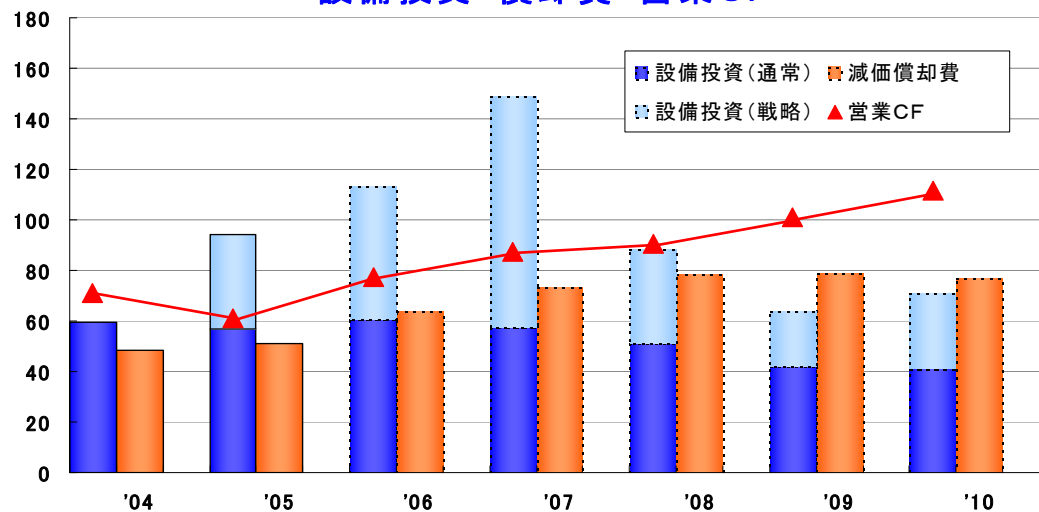
(億円)



投資計画

(億円)

設備投資・償却費・営業CF

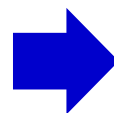


総投資額は485億円

- ・戦略投資: 230億円
- ・通常投資: 255億円

3-3 OCEAN-10の7大戦略

キーワードは「技術と海外」、
「ものづくりは人づくり」



トップクラスのグローバルな
部品メーカーを目指す

7 大 戦 略

◆技術と海外

1. 技術ロードマップに基づく、TPMSに続く複合的な商品・生産技術の確立
2. グローバル展開に向けた既存・新規拠点の整備・拡充

◆ものづくりは人づくり

3. 投資・収益基盤を強化するための戦略的コスト活動
4. 超短期生準・垂直立上の実現
5. 顧客の絶対的信頼を勝ち取るための「不良ゼロ」活動
6. 2015年Visionの実現を担うグローバル人財の育成
7. OCEAN-10の実現に向けて、資本の効率性を考慮した戦略的財務の確立

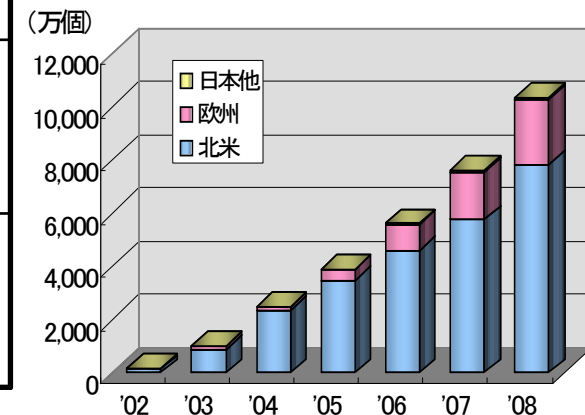
3-4 OCEAN-10:技術開発

項 目		概要・ねらい
TPMS	センサー技術 通信技術	●次世代TPMSの開発 ●北米の技術拠点を拡充 ●国内マザー工場の能力増強
高精度プレス	プレス加工 鍛造加工	●高機能品の受注獲得 ●既存プレス加工技術の向上
ネットシェイプ	鍛造加工	●材料使用量低減によるコストダウン (材料高騰により加速化)
高精度シール技術	シール	●Co₂・H₂などを使用するシステムで、 より高温・高圧での高気密を確保する ための技術
塗装レス 樹脂材料・成形技術	樹脂加工	● VOC(揮発性有機溶剤)を出さない、 環境にやさしい安価な装飾技術

TPMS
タイヤ空気圧監視装置



《TPMS市場規模予測》



3-5 プレス・樹脂事業と拠点

天津
大垣
九州
台湾

オハイオ

テキサス

(億円)

			06売上高	06・07 売上高増	06・07 投資額	投資目的	
						戦略	負荷適正化
プレス	日本	東大垣工場	—	+30	28		○
		九州工場	—	+10	26	○	○
	米国	PMO	130	+10	7	○	○
	中国	TPA	—	+10	27	○	
樹脂	日本	九州工場	—	+10	8	○	○
	米国	PMO	—	+10	10	○	

3-6 バルブ／TPMS事業と拠点



(億円)

		06売上高	06・07 売上高増	06・07 投資額	投資目的	
					戦略	負荷適正化
日本	北大垣TPMS	90	+40	14	○	○
	高精度プレス	5	+3	8	○	
韓国	PVI(PAC)	15	+10	10	○	



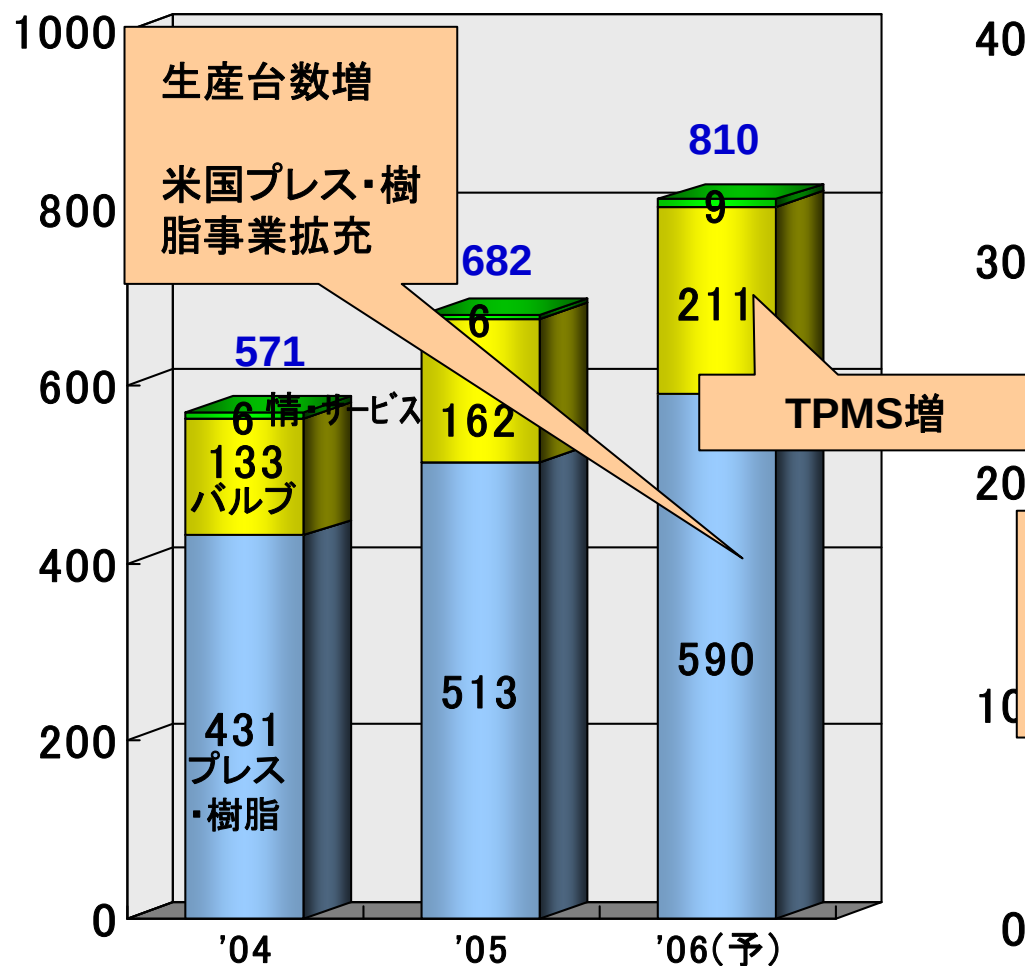
ご静聴ありがとうございました

第2の創業
OCEAN-10

2-8 通期 連結事業別セグメント

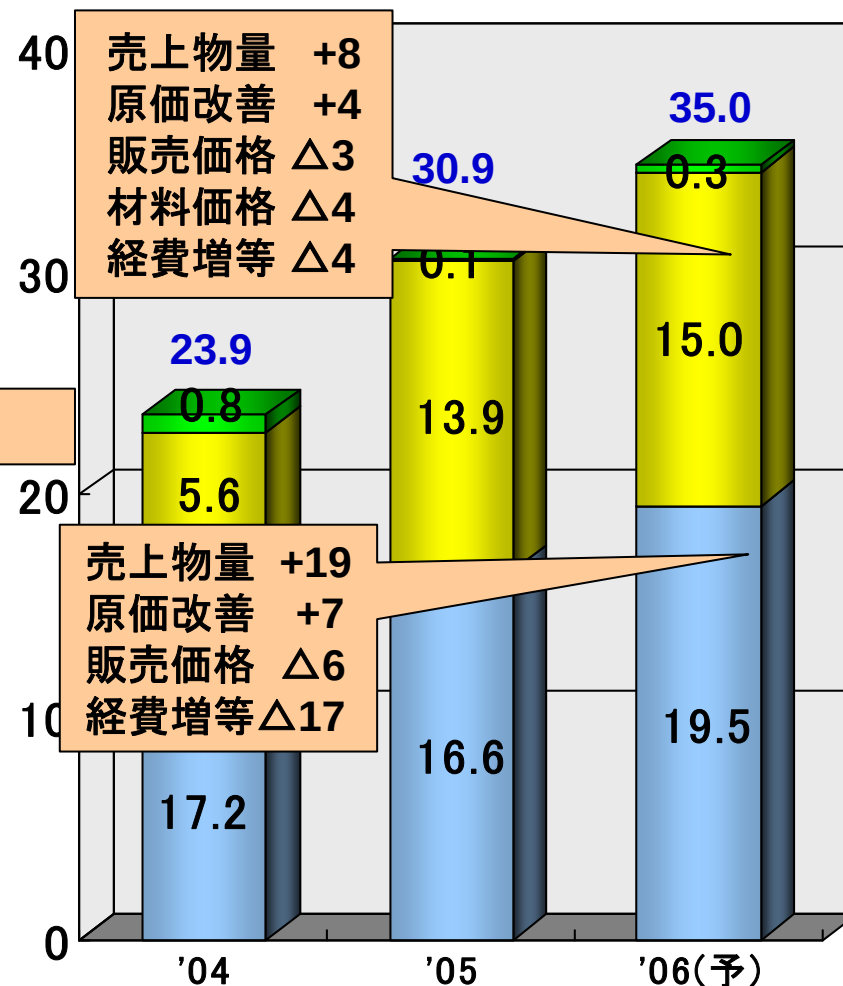
(億円)

《売上高》



(億円)

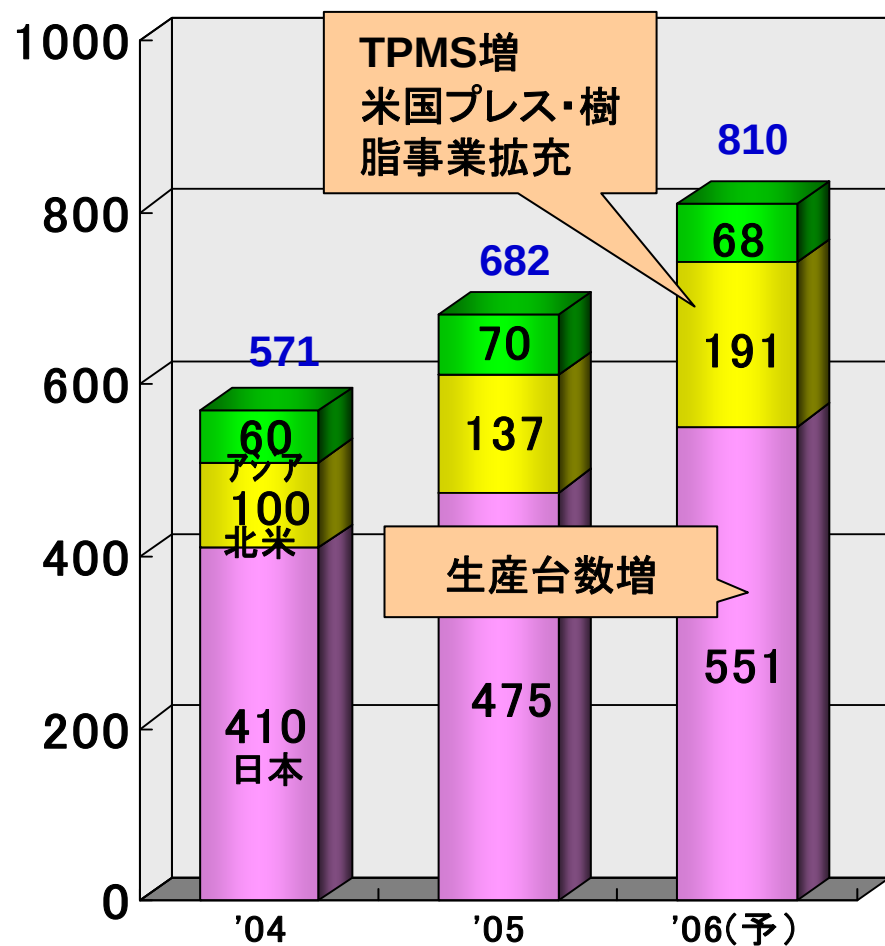
《営業利益》



2-10 通期 連結地域別セグメント

(億円)

《売上高》



(億円)

《営業利益》

